

【1年生】MMP（みずほ未来プロジェクト）発表会

1月27日（月）に、市内の3中学校の1年生が、「令和6年度 みずほ未来プロジェクト発表会」をオンラインで行いました。

この会のねらいは、以下の通りです。

- 「誰もが幸せに暮らせるまちにするために」をテーマに取り組んだ、1年間の歩みを交流することで、瑞穂市の現状や未来について語り合い、「誰もが幸せに暮らせるように、こんなまちにしたい。」という願いや、「10年後の瑞穂市のために、今、自分には何ができるのか。」という思いをもつことで、地域社会の一員としての自覚を深める。
- 瑞穂市について考え、よさや魅力を発見することで、「ふるさと瑞穂」に愛着をもつことができる。
- テーマのもと、よりよいまちづくりを目指して調査研究をした成果を、ICTを活用しながら様々な方法で表現、主張できる。

穂積中では「環境」を、穂積北中では「人権」を、巣南中では「防災」を視点に調査研究した成果を発表しました。

穂積中では、「環境」を視点に調査研究したことを、各学級の代表者が、「交通安全・危険箇所マップ」「食品ロス削減レシピ集」「ごみ問題改善対策」「公共施設活用ウォークラリー」など、瑞穂市のよりよい未来のために具体的にできることを発表しました。

会に参加された瑞穂市長様、教育長様、瑞穂市教育委員会の皆様、市役所の皆様からは、子どもたちの発想豊かで、具体的な提案について、「瑞穂市の取り組みの参考にしたい。」という評価をいただきました。生徒のこうした取り組みが、10年後、20年後の瑞穂市の明るい未来につながることを実感する発表会となりました。

